



こむこむ 2010年夏号

発行: 筑波大学OB・OG愛好会 編集: 小泉成行(98年入学) 2010年8月24日発行

愛好会 35周年記念事業のご案内

筑波大学オリエンテーリング愛好会創立35周年おめでとうございます。35年の長きに亘り、愛好会の歴史が紡がれ、多くの出会いや思い出が生まれていますが、それに携わったすべての方に1人のOBとして感謝いたします。一時期会員の減少で存続の危機とも言われた愛好会も今年は多くの1年生を迎えることが出来ました。来年、再来年とこれからも愛好会の歴史が続いていくことを心から祈念しています。

さてOB・OG会では35周年を記念して、25周年以来10年ぶりとなる記念誌の編纂と記念パーティーの開催を実施することとなりました。この10年、新しい会員が愛好会に入り、また卒業生たちは次のステージへと人生の駒を進めています。筑波大学を取り巻く環境も変わってきています。2つの事業をきっかけに世代を超えた新しい交流が生まれることを期待しています。

1つは35周年記念誌の編纂です。25周年記念誌は多くの方のご協力を得て、今なお貴重な資料として利用されていますが、それから10年分の追加データに加え、つくばエクスプレス開通、学群再編など大きな変化を迎えた筑波大学や愛好会のいろんな情報を掲載予定です。実行委員長には常住さん(06年入学)、さらに武藤さん(84年入学)、山本さん(07年入学)ほかOBOG会役員が実行委員として秋発行を目指して編纂にあたります。今後編集作業が佳境に入るとより多くの方のご協力が必要になるかもしれません。どうかその際にはご協力賜りますようお願い申し上げます。

もう1つは35周年記念パーティーです。こちらは2010年11月27日(土)15:00~18:00に筑波大学内の大会館レストランにて開催します。幅広い人材を輩出している愛好会ですが、より広い人のつながりを作れる機会を用意したいと思います。懐かしい出会い、新しい出会いから新たな歴史を生まれることを期待しています。実行委員長には伊東さん(03年入学)、そして太平さん(90年入学)、渡辺さん(94年入学)ほかOBOG会役員が実行委員を務めます。

奇しくも筑波大大大会の実行委員長として活躍した2人の女性のもと準備を進めています。彼女たちから、この2つの記念事業に駆ける想いをいただきましたので本誌上にて紹介いたします。

既にパーティー参加の一次集約のお知らせはいたしておりますが、正式なパーティーの招待状(出欠確認)と記念誌購入確認については9月に案内予定です。どうぞ多くの皆様からのご参加とご購入を賜りますようお願い申し上げます。

OB・OG会世話人代表 小泉 成行(98年入学)

35周年記念パーティー実行委員長 伊東佑初子(03年入学)

皆様ご多忙の中、事前出欠集約にご協力いただきまして有難うございます。お蔭様で、100名程の参加を見込んでおります。

『お久しぶり!』『元気だった?』『今度飲もうよ!』という再会という名の化学反応が会場で無数に起こるであろうと思うと非常にワクワクしてきます。また、35年の歴史の中で、また新たな出会いがあることも楽しみです。

競技を継続しているかいないか云々は気にせず、まさに『愛好会らしく』、どんな方でも楽しく参加でき、『参加して良かったと思える場の提供』ができるよう準備して参りますので、検討中の方も是非奮ってご参加下さい!

私の原点は愛好会にあります。競技メインで参加していましたが、筑波大大大会実行委員長を務めたことで、ここでは語れないくらい世界が広がりました。その原点に戻り、35周年記念パーティーに携われることをとても光榮に思います。35周年記念パーティーのゴールに向かって、チェックポイント確認しながら、Plan Do See の精神で頑張りますので、皆様ご協力の程宜しくお願い致します。



35周年記念誌実行委員長 常住紗織(06年入学)

35周年記念誌の編集長に任命されました常住紗織と申します。
35年前といえば、私はまだこの世に生まれていません。そのような社会に出たばかりのヒヨッコがこのような大役をお任せ頂いてとても恐れ多いです。

しかし、ネットの不調や新生活でのゴタゴタで仕事が遅れ気味な私を優しくフォローして下さった委員の先輩方、そして大好きな愛好会の仲間たちのために、読んで楽しく感慨深い、素晴らしい記念誌を完成させられるよう努力致しますので、皆様よろしくお願いします。



日光インカレ2009

2009年度の春インカレ(ミドル・団体戦)が2010年3月12~14日に開催されました。今年はおなじみ日光での開催。96年度インカレショート開催地「行川Ⅱ」をリメイクした「日光例幣使街道」という地図でオリエンティアにはなじみ深いファミテックをメイン会場にして開催されました。

今年からミドル競技は国際基準のミドルコースに合わせ例年より長いコースが提供されました。そのためインカレ当日の予選レースなしで、地区予選を勝ち上がった男子51名、女子22名が選手権Aクラスを走れます(従来のBファイナルに相当する選手権Bクラスも用意されています)。筑波大学から選手権に進んだのは男子神谷選手と女子常住選手の4年生1名ずつ。ともに見事完走し、神谷選手は入賞まであと一歩の8位となりました。

ミドル男子A選手権 - 5900m ↑ 260m			
1	大橋悠輔	0:43:34	東北4
2	小林遼	0:44:07	東京3
3	松井 健哉	0:44:16	名古屋3
8	神谷泰介	0:47:54	筑波4

ミドル女子A選手権 -4300m ↑ 150m			
1	高野美春	0:41:07	十文字3
2	星野智子	0:42:50	津田塾2
3	鈴木聡子	0:45:07	東北4
13	常住紗織	0:56:53	筑波4

団体戦男子選手権			
1	東京大学	2:15:41	
2	名古屋大学	2:17:45	
3	東北大学	2:27:21	
9	筑波大学	2:52:21	石松-下嶋-神谷

団体戦女子選手権			
1	椋山女学園	2:26:48	
2	東北大学	2:32:18	
3	宮城学院	2:41:03	
	筑波新潟	2:49:06	新井-常住-山本



左: 常住から山本へ継走 右: 学生最後のレースを締めくりゴールへ向かう神谷。後ろは運営スタッフの稲葉(04年入学)
写真提供: O-photo (<http://www.o-news.net/photo/>)

日光インカレ2009

翌日の団体戦。男子は昨年も走った4年生3人によるリレー、女子は新潟大学との混成チームで出場しました。男子は昨年の失格の雪辱を果たすべく、女子は入賞相当の順位を目指してスタートしました。女子は新潟大学の新井さんが1走、トップで会場に現れ筑波大の2人に繋がります。2走常住も手堅い走りで3位で継走、アンカーでエースの山本に繋がります。山本は少し調子を崩すも5位相当でゴール、特別表彰を受けました。来年以降の筑波女子復活へ想いをかけます。

男子は走順も昨年と同じ。1走石松が14位、2走下嶋が10位と少しずつ順位を上げていきアンカーでやはりエースの神谷に託します。神谷はコース2位の好タイムでゴール、9位でフィニッシュし、見事2年ぶりの完走を果たしました。



写真提供：武藤拓王さん(84年入学)

表彰式では会場に観戦に来ていた多くのOB・OGのカンパにより4年生へ花束をプレゼントしました。

インカレの主演は学生選手ですが、裏方にも多くの愛好会卒業生が関わっています。今回は長年インカレ運営に関わってきた立川洋さん(98年入学)からインカレへの想いを語っていただきました。



インカレ運営者に8の質問 立川 洋(98年入学)

文章化するのが得意ではないのでセルフQ&Aにしました。

1. どのくらい運営しているのか？

矢板ICS2003から日光ICM2009まで、ショート1回、ロング5回、ミドル・リレー6回の計12回。そもそものきっかけは矢板ICSのときに実行委員長の宮佐さん(96年入学)から誘ってもらったこと。その後、何かと頼まれることが増えて気付いたら参加した回数より多くなってしまいました。

2. 一番印象に残ったインカレは？

日光IC2004。自分たちがメインで開いたということ、インカレ改革初回ということであらゆることが手探りで、大変苦労したたとも一番印象に残っているインカレです。

3. 一番良かったことは？

先輩・同期・後輩、大学の垣根を越えて多くの知人ができたこと。今でもご飯を食べに行ったり、遊びに行ったりすることはしばしば。次のインカレの運営をお願いすることも…。

4. 一番大変だったことは？

休み・自分の時間がなくなること。日光2004のときは技術諮問委員も兼ねていたことと運営練習で各種大会を運営していたこともあり、週末が潰れてよく家事が溜まりました。今は週末をのんびり過ごすことも多く、物足りないと思うこともあります。

5. 困ることは？

ペナ等失格行為。運営者も規則に則るとはいえ人ですので、1年間準備してきてその結果が出せなかった人は見ていてつらいものがあります。

6. なぜ運営しているのか？

気障ったらしいですが、先輩からもらったものを後輩に返しているだけです。運営すればするほどいろんな人に借りは増えるのですが、そろそろ潮時かなと思っています。

7. これからのインカレ運営者に向けてひとこと

競技して、運営してはじめてインカレだと思っています。いろいろと大変なこともあります、学生のためとか変に気負わず自身のために楽しんでやってください。

8. 今後はどうかかわっていくのか？

今年から春インカレ担当理事に就任したので、また新しい立場でのかかわり方になりそうです。長期的な視点からインカレを支えていきます。

以上、インカレ運営者の実態でした。

アジア選手権で小泉が2冠

2010年5月のゴールデンウィーク中に岐阜県と愛知県で開催された第2回アジアオリエンテーリング選手権。4日に行われたロングと最終日5日に行われたリレーで小泉成行選手(98年入学)が優勝しました。ロングは日本選手権も兼ねており3つの金メダルを獲得したことになります。小泉選手から喜びのコメントが届いています。

小泉成行(98年入学)

アジア選手権と日本選手権、どちらも目標にしていただけに獲得できて本当に嬉しいです。特に日本選手権はインカレを終えて以来ずっと目標にしてきた大会の1つ。長年の夢が叶って万感の思いでした。また多くの同級生、先輩、後輩からも祝福のコメントをいただきました。いろんな人に支えられてきたんだなあとあらためて感謝の思いでいっぱいです。

僕の結果は愛好会男子関係者としては日本選手権では篠原岳夫さん以来2人目、アジア選手権では前回の高橋善徳さん以来2人連続になります。ともに96年入学で、僕の学生時代の大エースであり目標にしていた2人に肩を並べることが出来たのも自慢の一つです。

残る目標は世界選手権で決勝の舞台に立つこと。来年の大会を目指して日々トレーニングを積んでいますのでこれからもぜひ応援してください！



愛好会夏合宿 八ヶ岳山麓にて開催

愛好会の夏合宿が久しぶりに八ヶ岳山麓にて2010年8月6日～8日まで開催されました。なんと今年は山本さん(07年入学)の実家を宿にして開催されました。山本さん宅はかつて民宿をやっていたそうで、自宅合宿が実現できたんだそうです。近年、新入生が少なく減少傾向にあった愛好会ですが、今年は上級生と同数の7名が参加となりました。レース後に各自でルート検討会を行うなどかなり活気ある様子が見られました。このまま元気に続けていって欲しいところです。それを盛りたてるOBOGももう少しいればよかった、という意見もありました。

恒例の筑波杯の結果は下記のとおりです。

ME

- 1 日暮一太(4年) 1:40:17
- 2 池田昌司(3年) 2:01:56
- 3 片桐拓登(2年) 2:26:41

WE

- 1 山本紗穂里 2:16:47

MF

- 1 横井和樹(1年) 1:10:30
- 2 木間 光(1年) 1:17:28
- 3 池田隼人(1年) 2:04:38

WF

- 1 柳川 梓 (1年) 1:11:24
- 2 根岸真衣子(1年) 1:38:52
- 山本 藍子(1年) P3



速報 筑波大大会復活への足がかり

2010年12月12日(日)に茨城県ひたちなか市で全日本スプリントO選手権が開催される。それにあわせて前日に茨城県有志でイベントを開催することとなった。そのイベントの主な役員に愛好会の学生が名を連ねている。彼らはときわ走林会や愛好会OBらと協力しつつ運営ノウハウを学ぶために手を挙げたとのこと。しばらく途絶えている筑波大大会復活へ向けての足がかりとなるか。このイベントが成功し、彼らが自信を得るためにもぜひ多くのOBOGにも参加してもらいたい。詳細は今秋開設の全日本スプリントO選手権を参照されたし。

夏の国際舞台に多田、稲葉、渡辺が連続出場

2010年、サッカーワールドカップで大いに盛り上がりましたが、それに引き続いてオリエンテーリングの国際大会が各地で開催され、今年も愛好会出身選手が日本代表として出場しました。

まず7月10～18日までポルトガルで開催されたMTB-O世界選手権。今やMTB-O日本男子のエースとなった多田宗弘選手(93年入学)が3年連続の出場を果たしました。残念ながら目標としていたロング決勝進出はならなかったようですが、次へ向けてすでにトレーニングを始めているようです。

続いて7月19～23日までスウェーデンで開催された世界大学オリエンテーリング選手権(通称ユニバー、WUOC)に2大会連続で出場した稲葉茜選手(04年入学)。日本女子選手の中で連日トップ順位を獲得し、手ごたえを得たようです。次世代の日本女子の中心選手として彼女の活躍に注目です。

そして最後に8月8～15日、この記事を書いている今(8/5)、まさに始まろうとしている世界選手権(ノルウェー)に渡辺円香選手(94年入学)が出場します。5大会連続出場で、かつてユニバーで走った思い出の地でのリベンジを果たすべく現地でのトレーニングキャンプに参加しています。

今後も愛好会出身選手の活躍にぜひご注目ください。そして身近な日本代表をみんなで応援しましょう!

なお事前に募集した遠征援助金には武藤拓王さん(84年入学)、加曽利正典さん(93年入学)より合わせて3万1千円の支援をいただきました。ありがとうございます。

渡辺円香(94年入学) WOC日本代表

(出発前、愛好会MLへのメッセージより転送)

8月8日から1週間、ノルウェーのトロンハイムというところで開催される世界選手権に出場します。ここは、12年前ユニバーシアードで走った思い出の、私の世界戦デビューの地です。瞳を閉じると当時の山の状況やレース中の出来事などが蘇ってきます。当時は慣れないスカンジナビアの森に悪戦苦闘しましたが、再びチャレンジできる事となり、熱い思いが募ります。現在ほぼ毎週のように富士の森でノルウェー対策の練習をしています。ここ数年世界選手権には出場してませんが、結果が伴っていないので、少しでも良い成績を残せるように出発まで調整します。応援よろしくお願いします。



多田宗弘(93年入学) MTB-O日本代表

2010/7/11～17に行われた、第8回マウンテンバイクオリエンテーリング世界選手権大会に日本代表として出場しました。場所は、ポルトガルのモンテレグレ、シャベシュ(一番北の方)付近でした。(大会HP: <http://mtbwoc2010.fpo.pt/>)

結果は・・・

スプリント 57位(目標は30位台)

ミドル 53位(目標は30位台)

ロング予選 21位(20位まで通過。あと2分、目標は予選通過)

ロング決勝 Bファイナル1位

リレー 15位(勝ったチーム数は過去最多タイ(4チームに勝利))(目標はブービー圏脱出)

と、個人的にはリレー以外全て目標に届きませんでした。(Bファイナルで1位になったのはちょっと嬉しく、ちょっと残念(予選通過が一番近い人なので)ですが)。今年は準備が足りませんでした。万全の準備が出来た、とはとても言えない状態でした。昨年からの上積みほとんど無い状態だったので、目標も現状維持(ロング予選通過)しか具体的に設定できるものではありませんでした。が、その目標にも到達しませんでした。

でも収穫もありました。成績を分析したのですが、自分の巡航速度は、2年前はトップ比120%だったのですが、今年はトップ比115%に上がっていました。先ほど「上積みはない」と書きましたが、もしかしたら知らないうちにレベルアップしているのかも知れません。ちなみにロング予選の通過ラインはトップ比110%に上がっていました。確実に世界のレベルは上がっています。が、自分とトップとの差はむしろ縮まっています。しっかりとトレーニングと万全の準備が出来れば、あと10%位は簡単に速くなれると思っています。それにさらに5%何かしら上積み(MTB-Oへの習熟など)があれば・・・頂上が見えます。

もちろん年齢的な問題、様々な制約があり思うようには行かないと思います。でも、見えるなら目指したい、今はそう思ってます。来年はイタリアです。応援よろしくお願いします。あと、一緒にMTB-Oをがんばる人も募集しています。スプリントが好きな人、オリエンテーリングの醍醐味を「ルートチョイス」と思っている人に特にオススメです。



稲葉 茜(04年入学) ユニバーWUOC日本代表

7月19日から23日にかけてスウェーデンのボーレンゲで開催された、世界大学選手権に参加し、ロング、スプリント、リレーを走ってきました。

大会直前の現地入りで、あっという間の遠征でしたが、スウェーデンでのオリエンテーリングを楽しんでくることができました。毎週のように富士に通って直進&歩測を練習した成果が発揮され、1km以上の直進もバッチリ決まりました。日本での練習が、北欧でもきちんと役に立つことがわかり、よかったです。

とはいえ、結果としては、2年前のエストニア大会よりも順位もトップ比も悪く、悔しい気持ちでいっぱいです。世界との差を埋めるところか、離されてしまったようでした。特に、リレーでは、女子でもトップが5分/kmちょっとで走っていて、世界のスピードを改めて感じました。

今後も、また世界で戦えるように努力し、国内でも結果を残せる選手になりたいです。温かいご支援、応援をいただき、ありがとうございました。



OB・OG総会は35周年記念パーティーの前に

毎年筑波大大会での開催が恒例になっておりますOB・OG総会ですが、今年は35周年記念パーティーの前に開催します。時間・場所等については記念パーティー最終案内(出欠確認)と同時にお知らせします。ぜひ皆さんお誘い合わせの上ご参加くださいますようお願い申し上げます。

記

日時:2010年11月27日(土) 15:00～

会場:筑波大学内

議題:2009年度決算報告、2010年度予算承認、35周年記念事業報告 ほか

以上

OB・OG会 賛同金募集

OB会の活動は賛同金の収入により支えられております。当OB会の活動に賛同くださる方は、賛同金(年:1,000円)へぜひご応募ください。

賛同金は下記郵便振替・銀行口座へお振込みいただくか、または大会会場等で役員に直接お支払いください。なお大変恐縮ですが、振込手数料はご負担いただけますようお願い申し上げます。

またお手数をおかけいたしますが、お振込み後 下記事務局へご連絡いただけますと助かります。

- ① ゆうちょ銀行:口座番号:00130-4-112794 加入者名:筑波大OB愛好会
- ② 常陽銀行:研究学園都市支店(店番104) 普通 1929141
口座名:小泉 成行(コイズミ シゲユキ)

※ 夫婦会員は原則1名分での賛同金受付となります。

編集後記

35周年記念事業もいよいよ大詰めに入ってきました。伊東さん、常住さんを中心に日々の忙しい生活の中でみなさん一生懸命準備してくれています。その活動は愛好会の築いてきた歴史・人のつながりを守っていきたく、そしてもっと広げていきたいという彼らの情熱によって支えられています。ぜひ皆さんのご参加・ご購入をお待ちしております。

さて私も所属クラブで関わっているのですが、今年12月に茨城県で開催される全日本スプリントオリエンテーリング選手権関連イベントに愛好会の学生が運営協力してくれます。途切れてしまった筑波大大会復活へ向けてノウハウを貯めたいという思いを持っているそうです。再び筑波大大会 みなさんにお会いできることを大いに期待しています。

お問合せ先:筑波大学オリエンテーリング愛好会に参加した人たちの会

〒270-0164 千葉県流山市流山5-2-301 小泉成行 気付

電話:04-7150-1844(留守電あり) E-MAIL:comcom.tsukuba@gmail.com

こむこむオンライン: <http://www.orienteering.com/~comcom>